

組合理事長懇談会を開催 業種別に意見交換



製造業の懇談会

6月9日、15日、18日の3日間、前橋市・ラシーネ新前橋において、県内各地の組合理事長等の業界リーダーが出席し、組合理事長懇談会を開催した。例年地区別の開催であったが、今回は製造業、建設業、商業・サービス業・運輸業と業種別に開催。

各回それぞれ、群馬県産業経済部の工業振興課鬼形尚道課長、産業政策課石川利一課長、商政課上原英之課長が臨席し、本会金子正元会長も出席した。

懇談会は、金子会長の挨拶の後、本会中山正司専務理事が座長となり議事を進めた。



金子会長

まず、県の担当課長が群馬県の産業概況や産業経済施策等の説明を行った。次いで本会より、①今後の主要行事予定、②第67回中小企業団体全国大会、③組合新事業チャレンジ助成事業、④消費税転嫁対策窓口相談等事業、⑤ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業、⑥連携組織等企画提案型支援事業、⑦外国人技能実習生制度適正化事業等について情報提供を行った後、意見交換を行った。

製造業においては、①青年部の動向、②円安の影響、③電力料金の値上げ、④人材不足、⑤下請け取引の適正化、⑥税制、⑦官公需受注、⑧補助金の利用状況等、幅広い意見交換を行った。



上原英之商政課長



石川利一産業政策課長



鬼形尚道工業振興課長



建設業の懇談会

建設業においては、①電気事業法の改正、②官公需適格組合制度、③技能士資格、④技術者不足、⑤発注の平準化、⑥組合加入のメリット、⑦外国人技能実習生、⑧非組合員企業の動向等、話題は多岐にわたった。

商業・サービス業・運輸業においては、①規制緩和による同業者の増加、②同業種間・地域間の格差拡大、③雪害の影響、④地方創生事業、⑤需要喚起の必要性、⑥女性の起業、⑦原材料等の値上げ、⑧外国人技能実習生等、様々な議論を交わした。

意見交換で語られた組合の現状や要望を受け、県の担当課長が、①国に対する要望の進捗状況、②組合のメリット、③発注の現状、④雇用対策、⑤制度融資、⑥女性の活躍等について、今後のあり方や具体的対応策を説明した。

次いで、中央会が、①組合新事業チャレンジ助成事業、②要望の陳情状況、③官公需適格組合制度等について、参加者からの質疑に回答した。

結びに金子会長が、「リーマンショックの頃よりは、前向きな話も出て来るようになった。会長就



商業・サービス業・運輸業の懇談会



率直な思いが語られた

◎懇談会を終えて

今回は、例年以上に踏み込んだ意見交換をしていただきました。

懇談会の中で頂戴しました国に対する要望は、中小企業団体全国大会への決議案に取り入れて参ります。

任以来、人材育成、雇用、金融等様々な分野について、中小企業の声を広く届けてきた。今後とも会員の皆様と情報を共有して、しっかりと主張していく」と述べた。

群馬県給食協同組合連合会 第44回通常総会・講演会開催



伊藤有希氏

群馬県給食協同組合連合会（木島健司会長、会員3組合）は6月5日、伊香保町・ホテル木暮において第44回通常総会を開催した。

木島会長を議長に、議案の審議がなされ、事業報告・決算、事業計画・収支予算、経費の賦課・徴収方法、借入金残高の最高限度が満場一致で原案通り可決承認・決定された。

総会終了後、「印象管理を活用したコミュニケーション術」をテーマに、印象アナリスト伊藤有希氏が講演を行った。同氏は、印象を戦略的に演出する手法の研修の他、接客接遇の講習や女性向けにメイクの講習なども行っている。

伊藤氏はまず、印象戦略が活用された有名な例として、テレビが登場した1959年のアメリカ大統領選挙戦を紹介。現代でも、様々な著名人が多くの場面で印象管理のプロの力を借りて自身を演出している旨解説した。

その後、講師から様々な問いかけがされ、参加者自身が自分なりの考えをシェアしながら講義が進んだ。

例えば、様々な著名人の写真や、講師が印象を演出した人物のビ

デオアフターの写真を見せ、「何かがどのように印象へ影響を与えるのか」を問いかけることで、参加者自身が気づきを得ていった。

また、デモンストレーションとして参加者2名の服の着方・姿勢・髪形等その場で変えられる調整を行い、調整前後の写真を見比べながら、講義で解説した内容を実際の目で確認した。

さらに、良い印象を与える簡単な会話のテクニック、表情の使い方や表情筋を鍛える方法等も実践を交えながら解説した。



ペアを組み互いの印象を話し合う

◎研修を終えて

口角を少し上げる等のちょっとした行動で印象をよくできるとのこと。公私ともに活用していただければと思います。

群馬県中小企業団体青年協議会 第39回通常総会・研修会

群馬県中小企業団体青年協議会（久保田雅幸会長、29会員）は、6月10日、前橋市・前橋商工会議所会館において、第39回通常総会を開催した。

久保田会長が議長となり、平成26年度事業報告書並びに収支決算書承認の件、平成27年度事業計画並びに収支予算決定の件について審議が行われ、満場一致で原案通り可決承認・決定された。

次いで、来賓としてご臨席をいただいた商工中金前橋支店長松尾悟志氏、青年協議会直前会長田村明義氏を紹介し、松尾支店長より祝辞が述べられた。



久保田雅幸会長

通常総会終了後、株式会社双日総合研究所チーフエコノミスト吉崎達彦氏を講師に、「今後の日本経済と政治の動き」をテーマに研修会を行った。吉崎氏は、6月開催されたG7サミットの内容や今後の世界経済、日本経済について解

説。最後に地域中小企業について言及し、日本経済を担っている中小企業は非常に重要視されており、社会を動かしているのは中小企業と述べ、自社を成長させ、日本経済の発展に繋げて欲しいと締めくくった。



吉崎達彦氏

その後、懇親会を開催。久保田会長が挨拶し、来賓の本会中山正司専務理事が挨拶と乾杯を行った。懇親会は終始和やかな雰囲気、交流・懇親が深められ、田村直前会長による中締めにより、盛會裡に終了となった。

総会・研修会



懇親会



**青年協議会へ
是非ご加入下さい！**

青年協議会は、組合青年部やそのOB、中小企業の若手経営者、後継者等が加入し、研修会等の事業を通じて、企業や組合の後継者としての実力向上を図っています。多くの業種からご入会頂いているので、幅広い内容の情報交換ができ、相互に業界のリーダーとなるべく切磋琢磨できる絶好の場となっています。

会員数

団体21 個人8

会員資格

- ・ 中小企業組合に設置されている青年部
- ・ 任意に組織された若手経営者等の団体
- ・ 中小企業の経営者、後継者、役員及び中小企業組合の役員又は中小企業関係機関の役員

※詳細は本会開発課までお問い合わせ下さい。

平成26年度

新設組合の概要

■企業組合農業電力機構

畜産農家では、家畜排せつ物の焼却・浄化処理に対するコストが経営を圧迫している。こうした状況の中、家畜排せつ物のバイオマスの利活用を考える研究会で集まった仲間が企業組合を設立。家畜排せつ物の燃料化プラント及びバイオマス発電プラントの販売仲介業務と設置後のメンテナンスを行い、畜産農家の経営安定のサポートを目指す。

理事長 登丸 瑛
組合員 5人
所在地 前橋市
電話 027-284-9770
出資金 50万円
主な事業 家畜排せつ物の燃料化・バイオマス発電プラントの販売仲介業務等

設立 平成26年9月26日

■電化生活館・群馬県家電事業協同組合

家電販売業は、業界を牽引する主力商品不足や消費税増税に伴う反動減も見られ厳しい状況にある。また、店主の高齢化や後継者不足などにより廃業も目立っている。

しかし、今後、高齢化社会の進展に伴い、地域家電店の必要性の高まりが予想され、系列家電店が組織化し、情報交換や不足する経営資源を補いながら、諸問題の解決を図っていく。

理事長 中澤幸俊
組合員 21人
所在地 高崎市
電話 027-361-3161
地区 群馬県
出資金 210万円
組合員業種 電気機械器具小売業
主な事業 共同購買、共同販売、共同宣伝等

設立 平成26年10月14日

■健康美容協同組合

エステティックサロンは、女性の社会進出等を背景に発展しているが、大手業者の県内進出等で競争が激化し、経営環境は年々厳しさを増している。また、顧客ニーズが多様化すると共に施術方法も高度化。こうした環境変化に対応するために組合を設立。各種共同事業を実施し、各社の経営改善と体質強化を図り、更なる顧客の健康と美容の追及を目指す。

中小企業組合の新規設立動向

(全国中央会まとめ)

平成18年度から22年度まで5年度にわたり減少を続けていた新設組合数は、23年度に6年ぶりに増加に転じ、24年度も前年度比増加であったが、平成25年度は前年度比12組合減の327組合となり3年ぶりの減少となった。

平成25年度の新設組合の前年度増減を都道府県別にみると「増加」が17、「減少」が21、「不変」が9となっている。

また、10組合以上の設立があった都道府県は、東京都(29組合)、静岡県(23組合)、千葉県(22組合)、埼玉県(15組合)、北海道(14組合)、福岡県(14組合)、山形県(13組合)、宮城県(12組合)、福島県(11組合)、岩手県、三重県、大阪府、山口県(いずれも10組合)の13都道府県であった。

平成26年度において本会に設立相談のあった案件の中から、スケールメリットを追求して、共同購買、共同受注、共同販売、共同宣伝を実施する組合が設立されましたので紹介します。

－設立順・敬称略－

また、平成元年から平成25年における組合の設立・解散・増減数の推移をグラフで示し、全国の新規組合設立の動向を紹介します。

理事長 平尾真一
組合員 4人
所在地 高崎市
電話 027-395-0771
地区 前橋市、高崎市、伊勢崎市
出資金 100万円
組合員業種 エステティック業
主な事業 共同購買、共同宣伝、調査研究等
設立 平成26年11月7日

■アースケア協同組合
 超高齢化社会を見据えて、大手企業による有料老人ホーム業や訪問介護事業への新規参入が相次いでいる。こうした中、老人福祉関連の中小企業4社が生き残りを図るべく協同組合を設立。お互いの経営資源を補完しあい、経営基盤を強化すると共に、介護関連法律改正等の各種情報の共有を積極的に行い、市場競争力を高めていく。

理事長 藤原崇史
組合員 4人
所在地 前橋市
電話 027-2800-2227
地区 栃木県、群馬県、東京都
出資金 100万円
組合員業種 看護業、訪問介護事

業、有料老人ホーム
主な事業 共同購買、事務代行、共同宣伝等
設立 平成27年1月23日

■群馬きのこ生産協同組合
 東日本大震災等の風評被害等をうけ、椎茸の生産は原木椎茸から菌床椎茸へ移行。また、中国産等の安価な輸入椎茸が増える等、国内有数の生産高を誇る県内椎茸生産業は苦戦している。こうした中、菌床生産の共同施設の設置を目的に協同組合を設立。群馬ブランド椎茸の確立と消費拡大を目指す。

理事長 黛 勝江
組合員 5人
所在地 安中市
電話 027-393-5630
地区 安中市
出資金 125万円
組合員業種 野菜作農業
主な事業 共同施設の設置・運営、共同生産等
設立 平成27年3月3日

設立・解散・増減数の推移※解散数は負の数として表記 (平成元年度～25年度) ※解散数は命令解散含む

